

「ユネスコスクール玉川研修会：ESDと地球市民教育」

ーユネスコの価値教育推進に向けた異学校種間の連携ー
(文部科学省「平成29年度 日本/ユネスコ パートナーシップ事業」)

2017年12月16日(土) 14:00~18:00

会場：玉川大学 University Concert Hall (UCH) 106 教室

主催：玉川大学教育学部 共催：ASPUnevNet、玉川大学ユネスコクラブ

後援(予定)：ユネスコ・アジア文化センター、日本ユネスコ協会連盟、ESD活動支援センター

「地球はわれらが故郷なり」を建学の理念に掲げる玉川大学において、ユネスコの二大価値教育プログラムであるESDと地球市民教育(GCED)の学校現場でどう統合し、展開してゆけるかを検討するユネスコスクール研修会を実施いたします。児童生徒の心の中に、日本人としての誇りや自覚とあわせて地球市民としての自覚を高めることは、人類社会が直面する諸問題に対する当事者意識の涵養を重視するESD教育実践の質をいっそう高め、異文化との共生およびそのための対話のスキル向上を通じてESDにより広い視野をもたらす契機になると期待されます。

ユネスコスクールをはじめとする学校現場の教師はESDの文脈においてどのように地球市民教育の意義や課題を受けとめていったらいいのでしょうか。教材開発やカリキュラム開発というシステムの側面に加え、ここでは教員一人ひとりの授業づくりの姿勢に地球市民性育成へのまなざしを持ったESD実践をどう反映させ展開していくか、という教師教育の課題に焦点化した議論を展開します。同時に、小中高大をつなぐ異学校種間連携の可能性についても相互討論する場としたいと思います。

<プログラム>

14:00	開会式 ごあいさつ 近藤洋子 (玉川大学 教育学部長) 祝辞 川端和明 (文部科学省 国際統括官 メッセージ代読) 祝辞 鈴木佑司 (公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 理事長)	総合司会 小林亮 (教育学部)
14:30	基調講演 吉田敦彦 (大阪府立大学 副学長、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク 運営委員) 「ユネスコスクールにおける地球市民教育と持続可能な文化の形成」	
15:30	パネルディスカッション 「ユネスコの価値教育における異学校種間連携をどう進めるか？」 パネラー 吉田敦彦 (大阪府立大学 副学長) 建元喜寿 (筑波大学附属坂戸高等学校 教諭) 松倉紗野香 (上尾市立東中学校 グローバルティズンシップ 科研究主任) 百田明弘 (町田市立小山田小学校 教務主幹) 司会 小林亮 (玉川大学 教育学部 教授)	
16:30	大学生およびフロアーとのワークショップ 「グローバルシティズンシップとわたしたちの生活」 ファシリテーター：松倉紗野香	
17:30	閉会式 講評 渡辺一雄 (公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター 参与) 閉会の言葉 寺本潔 (玉川大学 教育学部教授、前教育学部長)	
18:30	懇親会 KEYAKI 食堂 2F	

<基調講演>

吉田敦彦「ユネスコスクールにおける地球市民教育と持続可能な文化の形成」

ESDとユネスコスクール(ASPnet)の今後の展開を考えると、平和と人権、多文化理解といったユネスコ精神の原点を踏まえ、地球市民教育(GCED)に注目する意義は大きい。ユネスコ憲章の意義やASPnet草創期からバルト海プロジェクト、国際理解教育・グローバル教育、そしてESDにおけるホールスクール・アプローチや持続可能な学校文化が強調されるに至った経緯を振り返ってみたい。そのうえで、学校種をこえて大切にすべき持続可能な・スクールの8基準を紹介する。

<ワークショップ>

松倉紗野香「グローバルシティズンシップとわたしたちの生活」

中学校での実践の中で、身近なものとしてSDGsやグローバルシティズンシップをつなぐ授業実践を紹介しながらワークショップを行います。

<講師プロフィール(登壇順)>

鈴木佑司

1944年、三重県生まれ。東大法学部政治学科卒、同大学院修士、オーストラリアのモナッシュ大政治学博士。インドネシア大、マラヤ大で教鞭、1983年から2015年まで法政大学教授。この間ジョンズ・ホプキンス大、オックスフォード大客員教授。専門はアジアの国際政治。現在、国連大学高等研究所客員教授、(公社)日本ユネスコ協会連盟理事長。

吉田敦彦

大阪府立大学・副学長・教授。日本ホリスティック教育/ケア学会会長、文科省委託ESD重点校形成事業・事業推進委員。著書：『世界のホリスティック教育/もうひとつの持続可能な未来へ』(日本評論社)、『持続可能な教育と文化：環太平洋のESD』(せせらぎ出版)ほか。

建元喜寿

1973年、岡山県生まれ。筑波大学大学院修士課程環境科学研究科修了。岡山県立高松農業高等学校教諭を経て現職。2008年6月、JICA現職教員教員特別参加制度を利用して青年海外協力隊に参加(インドネシア)。2010年3月に帰国し、復職。2014年から校内で国際教育推進委員会委員長、SGH推進委員会委員長を務める。

松倉紗野香

埼玉県上尾市立東中学校教諭(英語科)。研究主任として新教科「グローバルシティズンシップ科」のカリキュラム開発・教員研修等を担当しながら、外部連携のコーディネーター役を行っている。国際理解教育・開発教育の実践を広めるため小学校や教員研修のファシリテーターを務めている。

百田明弘

町田市立小山田小学校主幹教諭。桜美林高校、青山学院大学卒業後、北海道札幌市立旭小学校に勤務。その後、東京に移り、日野市立平山台小学校、青ヶ島村立青ヶ島小学校、ハノイ日本人学校、町田市立小山田小学校に勤務。2016年ACCU 韓国政府日本教職員招へいプログラムに参加。

渡辺一雄

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター参与。文部科学省大臣官房国際課長を務めた後、玉川大学教育学部教授(教育博物館長)、東京家政学院大学常務理事などを歴任。

「ユネスコスクール玉川研修会:ESD と地球市民教育」

申込用紙（締切: 2017 年 12 月 10 日）

本ユネスコスクール研修会についてのお問い合わせは以下にご連絡下さい。お申込みは2017年12月10日（日）までに、この申込用紙を使ってFAXをお送り頂くか、電子メールにてご連絡下さい。

メール送信先：makoto@edu.tamagawa.ac.jp

FAX 送信先： 042-710-1171（玉川大学ユネスコスクール担当）

申 込 票	
参加者氏名	
所属団体名（学校名）	
御住所	〒
連絡先	電話： FAX： 携帯： メール：
※ 研修会終了後、玉川大学 KEYAKI 食堂にて懇親会を行います（会費 3,000 円 当日受付精算）	
懇親会に 参加予定 参加しません	
※ 同じ団体（学校）から複数の参加者がある場合は、以下に他の参加者氏名をお書き下さい。	
参加者氏名 2	
参加者氏名 3	
参加者氏名 4	
*数日中に受理通知が届かない場合はお問い合わせ下さい。	